

8億円超流用問題の社福法人

理事らに川崎市元幹部5人

認可保育園や特別養護老人ホームなどを運営する社会福祉法人「母子育成会」（川崎市）の前理事長が約8億4千万円を私的に流用していたとされる問題で、川崎市の元

認可保育園や特別養護老人ホームなどを運営する社会福祉法人「母子育成会」（川崎市）の前理事長が約8億4千万円を私的に流用していたとされる問題で、川崎市の元

え、明らかにした。
市によると、昨年3月時点で理事や監事、評議員計15人のうち、理事と監事各1人、評議員3人の計5人が元市職員だった。退職した局長級職員が4人いたという。

母子育成会によると、前理事長は2000年に副理事長に就任したところから流用を始めたとみられる。昨年3月に実質的に経営から退き、新体制の下で私的流用が発覚した。

（佐藤英法）